

京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻
平成30年度修士課程入学者選抜における募集人員・試験日程等の変更について

エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻において平成30年度修士課程入学者選抜における募集人員・試験日程等を下記のとおり変更する。
 なお、詳細については平成29年4月初旬公表予定の「平成30年度修士課程学生募集要項」で必ず確認すること。

①募集人員について

(変更前) 募集人員

専 攻	募 集 人 員
エネルギー変換科学専攻	25名



(変更後) 募集人員

専 攻	募 集 人 員	
エネルギー変換科学専攻	第1回選抜	18名
	第2回選抜	7名*

*第1回選抜試験で欠員が生じた(合格者が募集人員に満たない)場合には増員することがある。

②試験日程・試験科目等について

第1回選抜 ※試験科目等は昨年実施の入学者選抜方法と同じ

専攻	月 日	8月7日(月)		8月8日(火)	
		時 間	試 験 科 目	時 間	試 験 科 目
エネルギー変換科学 専攻 第1回選抜		9:30~11:30	専門科目Ⅰ： 数学、熱力学、材料力学、 材料物性学、電磁気学の 計5科目から2科目を選択	9:30~11:30	専門科目Ⅱ： 専門分野1、専門分野2、 専門分野3、専門分野4 の計4分野から1分野 を選択
		13:00~14:00	小論文		

【第1回選抜】

英 語：配点100点

TOEFLの公式スコア票(Official Score Report)あるいはTOEICの公式認定証(Official Score Certificate)の成績に基づいて、100点満点に換算し、評価する。

専門科目Ⅰ：配点200点

下記の数学、熱力学、材料力学、材料物性学、電磁気学の計5科目から2科目を選択し、その選択科目についてそれぞれ解答する。

数 学：線形代数、微分方程式、ベクトル解析、複素関数、フーリエ解析、ラプラス変換、などから出題する。

熱 力 学：熱力学の基礎と応用から出題する。

材 料 力 学：材料力学、および弾性論の初歩から出題する。

材 料 物 性 学：材料物性の基礎から出題する。

電 磁 気 学：電気および磁気の基礎から出題する。

小 論 文：配点100点

エネルギー変換科学に関して出題する。

専門科目Ⅱ：配点200点

以下の各専門分野から1専門分野を選択して、選択分野について解答する。

専門分野1：機械力学、流体力学・伝熱学、システム工学、機械設計など。

専門分野2：電気回路、電子回路、電気電子計測、電気機器など。

専門分野3：結晶物性、材料組織、材料強度物性、拡散・相変態など。

専門分野4：応用物理(真空、原子力、放射線、核融合など)、

応用化学(移動現象、反応プロセスなど)。

第2回選抜

専攻	月日	9月22日(金)	
		時間	試験科目
エネルギー変換科学 専攻 第2回選抜		9:30~11:30	専門科目： 専門分野A、専門分野B、専門 分野C、専門分野Dの計4分 野から1分野を選択
		12:00~12:30	小論文

【第2回選抜】

英 語：配点 100 点

TOEFL の受験者用控えスコア票 (Examinee' s Score Record) あるいは TOEIC の公式認定証 (Official Score Certificate) の成績に基づいて、100 点満点に換算し、評価する。

専門科目：配点 200 点

下記の専門分野 A、専門分野 B、専門分野 C、専門分野 D の計 4 分野から 1 分野を選択し、その選択分野についてそれぞれ解答する。

専門分野 A：熱力学及び材料力学。

専門分野 B：電磁気学、電気回路、電子回路。

専門分野 C：結晶物性、材料組織、材料強度物性、拡散・相変態。

専門分野 D：応用物理（真空、原子力、放射線、核融合など）、

応用化学（移動現象、反応プロセスなど）。

小 論 文：配点 50 点

エネルギー変換科学に関して出題する。

平成29年2月27日
京都大学大学院エネルギー科学研究科